

本日のプログラム

- 13:30 開会挨拶
- 13:35 第4回ワークショップのふりかえり
本日のワークショップの説明
- 14:00 グループワーク
- 15:05 グループ発表
- 15:20 本日のまとめと次回の内容について
- 15:30 閉会

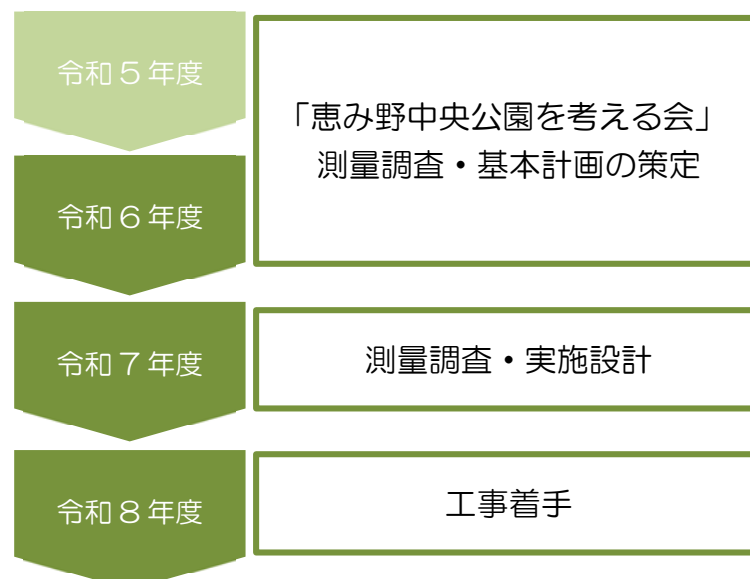


事業説明

本公園は、公園開設から約40年が経過し、施設の老朽化や社会環境の変化に対応した公園の役割や機能の見直しを考える時期を迎えています。

地域にお住いの皆さまが集まり、これからの恵み野中央公園のあり方について、基本的な考え方や施設改修方針などをまとめていきます。

▼事業スケジュール



ポイント

1. ワークショップとは

ワークショップとは、参加者全員が公園について考え、意見を出し合い、わからないことは助言を受けながら、自分たちの公園を自ら形づくっていかうとするものです。

今回についても、多くの皆さんが恵み野中央公園の改修内容や管理・運営について、アイデアを出しあい、協働で作業することで、より地域に根ざし、親しまれる場所となり、末永く利用していただけるのではないかとこの観点から開催されます。

また、参加者が意見を出しやすいように、少人数のグループに分かれて進めます。

2. 恵み野中央公園について

恵み野中央公園は、恵み野地区の中心を南北に貫くように位置する総合公園です。

中央部に位置する大きな池と水路が特徴的で、野外音楽堂、野球場、庭球場などを備えており、開設から約40年が経過した今もなお地域住民に親しまれる場所です。

一方で、経年劣化による施設の老朽化や、過密な樹木による暗がりや死角など、魅力の低下が危惧されています。

【面積】約11.1ha
【開設】昭和59年



問い合わせ先

恵庭市 建設部 公園緑地課 担当 江田

TEL33-3131

(株)環境緑地研究所

担当 太田、工藤

TEL(011)221-4101

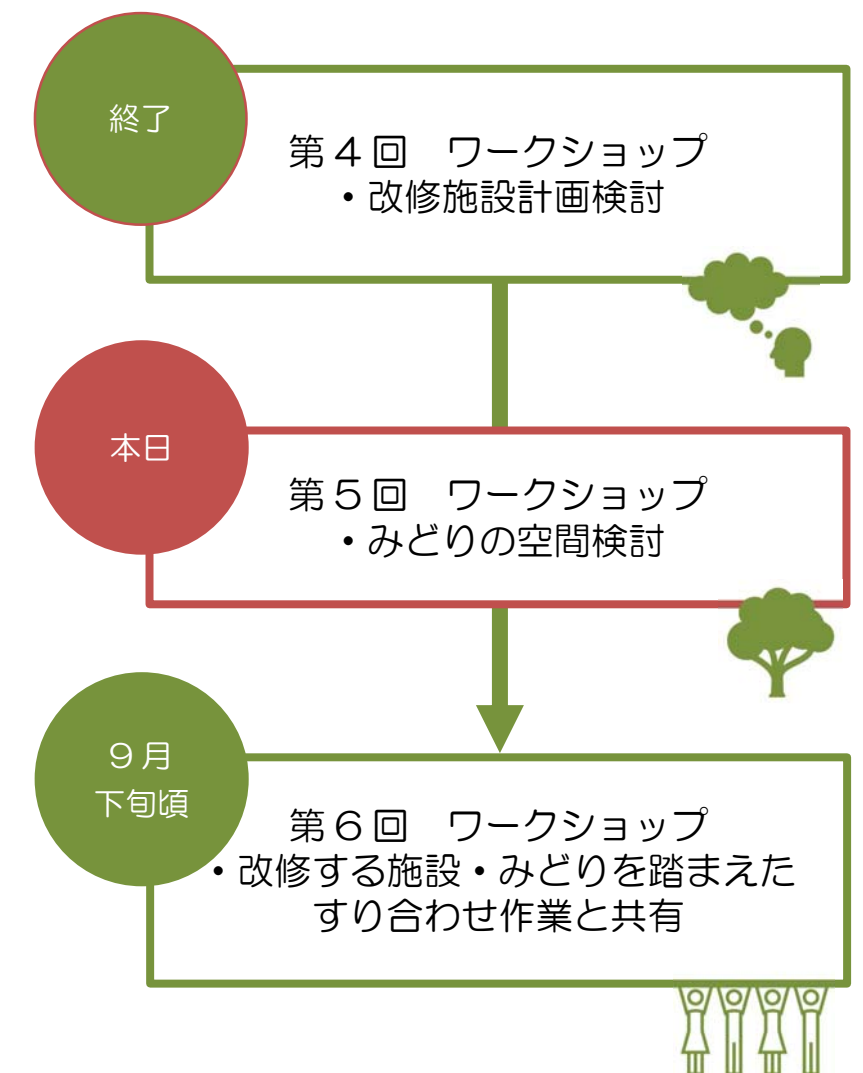
恵み野中央公園を考える会

～第5回 恵み野中央公園ワークショップ～

日時：8月2日 13:30～15:30

場所：恵み野会館

ワークショップのスケジュール



改修に向けた“みどり”について考える！

前回のワークショップについては、別紙【前回のワークショップふりかえり】をご参照ください。

1. 既存樹木の取り扱いについて

- 枯損・病害虫に侵された樹木
- 密集していて、不要な死角・暗がりとなっている樹木
- 施設整備により、やむなく支障となる樹木

公園利用者の安全や安心を阻害する樹木は整理

2. 新たな緑地空間をどの様に考える？

- 良好な緑地・水辺空間の維持
- 心地よいと感じる空間は、場所によって違う
- 公園周辺に立地する魅力的な空間とのつながり
- 生き物を“育てる”という観点から
→持続可能な管理をどう考える？

“みどり”がもたらす様々な効用例

【憩い・安らぎ】

- ・四季の移ろい、心地よい緑陰と木陰、地域性のあるみどり

【環境負荷の軽減】

- ・緑の循環、水質浄化、斜面地盤の安定化、水源かん養

【コミュニティ・賑わい】

- ・地域コミュニティの創出、観光資源

【生態系保護】

- ・多様な生き物の棲み処保護と共生



改修部分の計画素案



3. 新たな緑地空間を考える際のポイント

- 現状で心地よいと感じる空間はどのような空間？
→現状の心地よいと感じる空間の拡充・連続性
- 誰もが快適で、安全・安心して利用できる空間
→見通し・視認性⇔地域の緑の骨格としての緑量
- 多様な生態系の保持
→立入りを抑制する場所も必要
- 公園周辺に立地する魅力的な緑地空間とのつながり
→郷土性や敷地形状から中央公園らしい緑地空間
- 新たな賑わい・コミュニティ空間
→地域参加型の管理・運営